

クラブ広報委員長会議報告

広報委員会 委員長

林 邦彦 (大阪西RC)

2012年7月7日(土)午後2時より、本年度第1回広報委員長会議を、大阪科学技術センターにて開催しました。

本年度最初の土曜日で、就任されたばかりの各クラブの広報委員長の皆様に、広報についてよく知って頂き、各クラブでの広報活動に活かして頂きたいというのが、本委員長会議の趣旨です。

まず、御来賓のご紹介の後、高島Gのご挨拶では、本年度は、田中作次RI会長においても、高島Gにおいても「公共イメージのアップと認知度の向上」が強調事項であり、特に広報が重要であるとのご指摘がありました。

次に、広報委員長である私より、昨年度の広報委員会の活動をご紹介した上で、「公共イメージのアップと認知度の向上」のためには、とりわけ「対外広報」が非常に重要であることをご説明するとともに、本年度の広報委員会として、JR大阪駅デジタルサイネージ(電子広告。第1回目は8月6日から9月2日まで。RI補助金を得ましたので第2回目も予定しています)、産経関西HP「2660地区通信」の充実、ラジオ大阪でのラジオ番組の継続等の活動方針をご説明しました。



その後は、産経新聞大阪本社総合企画室長・深堀明彦様より「卓話だってネタになる」のテーマで、産経新聞大阪本社総合企画室デジタルメディア担当部次長・岡崎秀俊様より「メディア状況の変化と『広報』」のテーマで、それぞれご講演頂きました。深堀様からは、広報には1次情報を対象とすることが重要であり、1次情報であるロータリークラブの奉仕活動は広報に適切であること、岡崎様からは、広報の視点からは4つのテストの視点に基づいた奉仕活動を対象にすればよい広報ができること等をご説明いただきました。

そして休憩の後、木村研修委員より、各クラブのHPの更新の状況(数年HPが更新されていないクラブもあることなど)やHPによる広報充実の必要性をご説明頂いた後、「対外広報の実例について」のテーマでIMごとに分かれてバズセッションを行いました。各クラブの奉仕活動自体が対外広報ですが、それをタイムリーにHPに反映させるべきであること等活発に議論していただきました。

最後に、岡部PGにご講評頂くとともに、福家GEに閉会のご挨拶を頂き、第1回広報委員長会議を終了しました。皆様、長時間熱心にご参加頂き、ありがとうございました。

8月のJR大阪駅デジタルサイネージでは、是非JR大阪駅に足を運んでください。

第2660地区の広報の充実のため、皆様1年間よろしくお願い致します。

